



etc...

誰かに聞いてもらいたい、相談したい...

専門的なカウンセリングを受けたい...

はあと♡ステーション“いの”



平成21年度の開室について

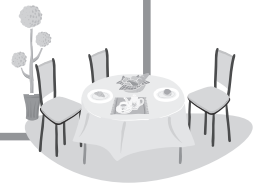


Q「はあと♡ステーション“いの”」とは?

A

教育委員会では、平成19年度から主として電話相談による「親と子の心の相談室」を開設しています。また、平成20年度からは、いの町の『スクール・ソーシャル・ワーカー』として、臨床心理士である“濱川博子先生”をお迎えし、電話予約及び来所による相談活動を実施しています。

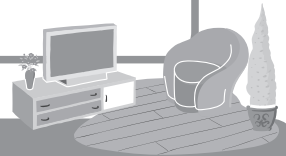
この総称が「はあと♡ステーション“いの”」です。



Q「スクール・ソーシャル・ワーカー」とは?

A

近年、子どもの問題行動や児童虐待などへの対応において、教育と福祉の連携の重要性が高まっています。『スクール・ソーシャル・ワーカー』とは“福祉的なアプローチで学校・家庭・地域に働きかけ、児童生徒の教育環境の改善を図る専門家”のことです。『スクール・ソーシャル・ワーカー』の活動は、学校・家庭・地域等、子どもに関わるすべての背景や状況を視野に入れて判断し、子どもを取り巻く環境の改善を図ります。ただし、『スクール・ソーシャル・ワーカー』が答えを出すのではなく、困っている当事者・関係者らが自ら対処する能力を高めるよう支援を行う立場をとります。また、扱うテーマは個々のケースによって異なり、援助が進む過程で変動することもあります。



『スクール・ソーシャル・ワーカー』の配置理由について



現在、スクールカウンセラーの配置により相談活動を行っている学校もありますが、『学校に相談に出向くのはちょっと……』とお考えの方もいらっしゃるのではないのでしょうか?そういう方のために相談の場と機会を増やしました。